

## 配信資料に関する技術情報 第499号

- 2週間気温予報等の電文と数値予報ガイダンスの提供開始等について —  
(配信資料に関する技術情報第293号、第495号関連)

気象庁では、農業・電力をはじめとした産業界等の多様なニーズを踏まえ、幅広い分野における気候リスクの軽減と生産性向上に貢献するため、異常天候早期警戒情報に替えて、平成31年6月頃より2週間気温予報及び早期天候情報の提供開始を計画しています。

2週間気温予報及び早期天候情報の電文並びにこれらの情報に利用する数値予報ガイダンス（以下、2週間気温予報ガイダンス）について下記のとおりお知らせいたします。

なお、FAX図に関しては、別途配信資料に関する技術情報にてお知らせいたします。

### 記

#### 1. 2週間気温予報及び早期天候情報の電文提供開始

平成31年6月頃に、2週間気温予報及び早期天候情報の電文の提供を新たに開始いたします。提供開始日は決まり次第、別途お知らせします。2週間気温予報及び早期天候情報の概要については別添1をご覧ください。XML電文の詳細につきましては、「気象庁防災情報 XML フォーマット情報提供ページ」(<http://xml.kishou.go.jp/>)において関連資料を提供しますので、そちらをご参照ください。また、サンプルデータを（一財）気象業務支援センターから提供いたします。

なお、異常天候早期警戒情報の電文（データ種類コード：VPAW50）につきましては、2週間気温予報及び早期天候情報の運用開始と同時に提供を終了します。

#### 2. 2週間気温予報ガイダンスの提供開始

2週間気温予報等の電文提供開始にあわせて、2週間気温予報ガイダンスの提供を新たに開始いたします。また、それに先立ち、平成30年11月頃から2週間気温予報ガイダンスの試験提供を開始します。試験提供開始日は決まり次第、別途お知らせします。詳細につきましては、別添2をご覧ください。また、サンプルデータを（一財）気象業務支援センターから提供いたします。

なお、現在、毎週月・木曜日に提供している異常天候早期警戒情報ガイダンスは、2週間気温予報等の運用開始から約1年後に配信終了します。具体的な配信終了日につきましては、決まり次第お知らせいたします。

#### 3. 添付資料

- 別添1 2週間気温予報及び早期天候情報の解説  
別添2 2週間気温予報ガイダンスの解説

以上

## 2 週間気温予報及び早期天候情報の概要

主に2週間先の5日間平均を対象に、毎日1回、全国的な気温の推移の概況を全般2週間気温予報として提供するとともに、各地方の平均気温の階級及び各地域内の代表地点における最高・最低気温及びその階級等を地方2週間気温予報として提供します。

また原則として毎週月・木曜日に、2週間気温予報の予報対象期間にかなり高い（低い）(\*1) 気温又はかなり多い(\*1) 降雪量を予想した場合は、早期天候情報を提供します。

なお、現在提供している異常天候早期警戒情報の電文（データ種類コード：VPAW50）につきましては、2週間気温予報及び早期天候情報等の運用開始と同時に提供を終了します。

### 新規に提供開始する電文

#### 1 全般2週間気温予報

データ種類コード	VPZK70
発表官署	気象庁本庁
配信頻度	毎日1回（14時30分（日本時間））
電文に含まれる内容	2週間先にかけての全国的な推移を概況文として提供します。
XML 電文の運用に関する特記事項	Control/Titleは「全般季節予報（2週間気温予報）」とします。

#### 2 地方2週間気温予報

データ種類コード	VPCK70
発表官署	気象庁本庁
配信頻度	毎日1回（14時30分（日本時間））
電文に含まれる内容	8日先から12日先までの各日を中心とする5日間平均について、次の情報を提供します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>各地域(*2)の地域平均気温の階級の確率（7段階；*3）</li> <li>各地域内の代表地点(*4)について、最高気温と最低気温及びそれらの階級の確率（7段階；*3）と予測範囲(*5)</li> </ul>
XML 電文の運用に関する特記事項	Control/Titleは「地方季節予報（2週間気温予報）」とします。

#### 3 早期天候情報

データ種類コード	VPAW51
発表官署	地方予報中枢官署(*6)
配信頻度	毎週2回（原則として毎週月・木曜日、14時30分（日本時間））
電文に含まれる内容	8日先から12日先までのいずれか1日を中心とする5日間平均について、次の情報を提供します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>予想される顕著な現象（高温、低温、大雪のいずれか）、地域、期間及びこれらの解説文</li> </ul>
XML 電文の運用に関する特記事項	Control/Titleは「早期天候情報」とします。 原則として毎週月・木曜日に地方2週間気温予報の予報対象期間内にかなり高い（低い）(*1) 気温又はかなり多い(*1) 降雪量となる確率が30%以上と予想された場合にのみ発表します。 なお、季節はずれの時期にかなり多い降雪量となる確率を30%以上と予想する場合には、原則として、情報タイトル(Head/Title)を「雪に関する早期天候情報」とします。

- (\*1) 気温について、気候学的出現率が高い（低い）方から10%の範囲を「かなり高い（低い）」、気候学的出現率が高い（低い）方から33%の範囲を「高い（低い）」と定義する。  
降雪量について、気候学的出現率が多い方から10%の範囲を「かなり多い」と定義する。

(\*2) 地方2週間気温予報を提供する予報対象地域名及び予報対象地域に含まれる府県予報区（細分区）

予報対象地域名	予報対象地域に含まれる府県予報区（細分区）
北海道日本海側	宗谷地方（宗谷北部、利尻・礼文）、上川・留萌地方、石狩・空知・後志地方、渡島・檜山地方（檜山地方）
北海道オホーツク海側	宗谷地方（宗谷南部）、網走・北見・紋別地方
北海道太平洋側	釧路・根室・十勝地方、胆振・日高地方、渡島・檜山地方（渡島地方）
東北日本海側	青森県（津軽）、秋田県、山形県、福島県（会津）
東北太平洋側	青森県（下北、三八上北）、岩手県、宮城県、福島県（中通り、浜通り）
関東甲信地方	茨城県、群馬県、栃木県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県、長野県
北陸地方	新潟県、富山県、石川県、福井県
東海地方	静岡県、岐阜県、愛知県、三重県
近畿日本海側	兵庫県（北部）、京都府（北部）、滋賀県（北部）
近畿太平洋側	大阪府、兵庫県（南部）、京都府（南部）、滋賀県（南部）、奈良県、和歌山県
中国地方	島根県、広島県、鳥取県、岡山県
四国地方	香川県、愛媛県、徳島県、高知県
九州北部地方（山口県を含む）	山口県、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県
九州南部	宮崎県、鹿児島県（薩摩地方、大隅地方、種子島・屋久島地方）
奄美地方	鹿児島県（奄美地方）
沖縄地方	沖縄本島地方、大東島地方、宮古島地方、八重山地方

(\*3) 地方2週間気温予報で用いる階級の確率（7段階）

	解説
かなり低い確率50%以上	かなり低い(*1) 気温となる確率が50%以上と予想
かなり低い確率30%以上	かなり低い(*1) 気温となる確率が30%以上と予想
低い確率50%以上	低い(*1) 気温となる確率が50%以上と予想
なし	いずれにも該当しないと予想
高い確率50%以上	高い(*1) 気温となる確率が50%以上と予想
かなり高い確率30%以上	かなり高い(*1) 気温となる確率が30%以上と予想
かなり高い確率50%以上	かなり高い(*1) 気温となる確率が50%以上と予想

(\*4) 地方2週間気温予報を提供する各地域内の代表地点

予報対象地域名	予報対象地域内の代表地点	備考
北海道日本海側	稚内、旭川、札幌	
北海道オホーツク海側	網走	
北海道太平洋側	釧路、帯広、室蘭、函館	帯広は4月1日～9月30日のみ提供
東北日本海側	青森、秋田、山形、若松	
東北太平洋側	八戸、盛岡、宮古、仙台、白石、福島	宮古は12月1日～3月31日のみ提供(注) 白石は12月1日～3月31日のみ提供(注)
関東甲信地方	水戸、宇都宮、みなかみ、前橋、熊谷、東京、大島、八丈島、父島、銚子、横浜、長野、松本、甲府	みなかみは11月1日～4月10日のみ提供 大島は11月1日～4月10日のみ提供 松本は11月1日～4月10日のみ提供

北陸地方	新潟, 富山, 金沢, 福井	
東海地方	静岡, 名古屋, 高山, 岐阜, 津	高山は11月1日～3月31日のみ提供
近畿日本海側	彦根, 舞鶴, 豊岡	舞鶴は11月1日～3月31日のみ提供 豊岡は11月1日～3月31日のみ提供
近畿太平洋側	大津, 京都, 大阪, 神戸, 奈良, 和歌山	大津は11月1日～3月31日のみ提供
中国地方	津山, 岡山, 庄原, 広島, 松江, 鳥取	津山は11月1日～3月31日のみ提供 庄原は11月1日～3月31日のみ提供
四国地方	徳島, 高松, 松山, 高知	
九州北部地方(山口県を含む)	下関, 福岡, 大分, 佐賀, 熊本, 厳原, 長崎	厳原は11月1日～3月10日のみ提供
九州南部	宮崎, 鹿児島	
奄美地方	名瀬	
沖縄地方	那覇, 南大東, 宮古島, 石垣島	

(注) 宮古と白石は当面の間、通年提供する。

(\*5) 予測範囲とは、実況の気温がおおよそ80%の確率で入ると予測される範囲

(\*6) 早期天候情報を提供する地方予報中枢官署と担当する予報対象地域名、および予報対象地域に含まれる府県予報区(細分区)

地方予報中枢官署	予報対象地域名	予報対象地域に含まれる府県予報区(細分区)
札幌管区气象台	北海道地方	宗谷地方, 上川・留萌地方, 網走・北見・紋別地方, 釧路・根室・十勝地方, 胆振・日高地方, 石狩・空知・後志地方, 渡島・檜山地方
	北海道日本海側(*7)	宗谷地方(宗谷北部, 利尻・礼文), 上川・留萌地方, 石狩・空知・後志地方, 渡島・檜山地方(檜山地方)
	北海道オホーツク海側	宗谷地方(宗谷南部), 網走・北見・紋別地方
	北海道太平洋側	釧路・根室・十勝地方, 胆振・日高地方, 渡島・檜山地方(渡島地方)
仙台管区气象台	東北地方	青森県, 秋田県, 岩手県, 山形県, 宮城県, 福島県
	東北日本海側(*7)	青森県(津軽), 秋田県, 山形県, 福島県(会津)
	東北太平洋側	青森県(下北, 三八上北), 岩手県, 宮城県, 福島県(中通り, 浜通り)
気象庁本庁	関東甲信地方	茨城県, 群馬県, 栃木県, 埼玉県, 千葉県, 東京都, 神奈川県, 山梨県, 長野県
	長野県北部・群馬県北部(*7)	長野県(北部), 群馬県(北部)
新潟地方气象台	北陸地方(*7)	新潟県, 富山県, 石川県, 福井県
名古屋地方气象台	東海地方	静岡県, 岐阜県, 愛知県, 三重県
	岐阜県山間部(*7)	岐阜県(美濃地方(山間部), 飛騨地方)
大阪管区气象台	近畿地方	大阪府, 兵庫県, 京都府, 滋賀県, 奈良県, 和歌山県
	近畿日本海側(*7)	兵庫県(北部), 京都府(北部), 滋賀県(北部)
	近畿太平洋側	大阪府, 兵庫県(南部), 京都府(南部), 滋賀県(南部), 奈良県, 和歌山県
広島地方气象台	中国地方	島根県, 広島県, 鳥取県, 岡山県
	山陰(*7)	島根県, 鳥取県
	山陽	広島県, 岡山県
高松地方气象台	四国地方	香川県, 愛媛県, 徳島県, 高知県

福岡管区气象台	九州北部地方（山口県を含む）	山口県, 福岡県, 佐賀県, 長崎県, 熊本県, 大分県
鹿児島地方气象台	九州南部・奄美地方	宮崎県, 鹿児島県
	九州南部	宮崎県, 鹿児島県（薩摩地方, 大隅地方, 種子島・屋久島地方）
	奄美地方	鹿児島県（奄美地方）
沖縄气象台	沖縄地方	沖縄本島地方, 大東島地方, 宮古島地方, 八重山地方

(\*7)の印をつけた地域では大雪または雪に関する早期天候情報を提供します。

## 2週間気温予報ガイダンスの解説

### 1. ファイルの配信頻度

平成30年11月頃開始する試験提供及び平成31年6月頃の本運用開始後のいずれも、毎日1回午前9時（日本時間）までに配信する。

### 2. ファイルの形式と命名規則

以下の名称の tar ファイルにて配信する。

Z\_C\_RJTD\_yyyyMMddhhmmss\_EPSE\_GUID\_Rjp\_JRlong\_P-all\_tablr.tar

ここで、yyyyMMddhhmmss は、初期時刻の年月日時分秒（世界協定時（UTC））

tar ファイルには、地点に関するガイダンス（1ファイル）及び地域平均に関するガイダンス（34ファイル）が含まれている。それぞれのファイル名は、以下のとおり。

地点：Z\_C\_RJTD\_yyyyMMddhhmmss\_EPSE\_GUID\_RS-all\_JRlong\_P-all\_tablr.csv

地域平均：Z\_C\_RJTD\_yyyyMMddhhmmss\_EPSE\_GUID\_RJ【地域略称】\_JRlong\_P-all\_tablr.csv

【地域略称】と地域名の対応は次の表のとおり。

略称	地域名	略称	地域名	略称	地域名
knh00	北日本	hkd00	北海道地方	knk00	近畿地方
knh01	北日本日本海側	hkd01	北海道日本海側	knk01	近畿日本海側
knh02	北日本太平洋側	hkd03	北海道オホーツク海側	knk02	近畿太平洋側
hnh00	東日本	hkd02	北海道太平洋側	cgk00	中国地方
hnh01	東日本日本海側	thk00	東北地方	cgk06	山陰
hnh02	東日本太平洋側	thk01	東北日本海側	cgk07	山陽
nnh00	西日本	thk02	東北太平洋側	skk00	四国地方
nnh01	西日本日本海側	thk05	東北北部	kyh00	九州北部地方
nnh02	西日本太平洋側	thk04	東北南部	kyn00	九州南部・奄美地方
nss00	沖縄・奄美	ktk00	関東甲信地方	kyn08	九州南部
		hkr00	北陸地方	kyn09	奄美地方
		tki00	東海地方	okn00	沖縄地方

### 3. ファイル書式

ファイル形式は、CSV形式（カンマ区切りのテキストデータ）とする。書式は以下のとおり。

#### ① 行の構成

各ファイルは「初期時刻行」、「予測資料行」により構成されている。

- ・1行目：「初期時刻行」
- ・2行目以降：「予測資料行」

#### ② 予測資料行の構成

予測資料行（2行目以降）の構成は、以下のとおり。

(1) 地点のガイダンスファイル

地点ごと、要素（日平均気温、日最高気温、日最低気温のそれぞれ5日間平均）ごとに、各予測対象期間の予測資料を格納する。

2行目	地点A	日平均気温	予測1日目～5日目の5日間平均	}	日平均 気温	}	地点A
3行目	地点A	日平均気温	予測2日目～6日目の5日間平均				
...							
14行目	地点A	日平均気温	予測13日目～17日目の5日間平均	}	日最高 気温		
15行目	地点A	日最高気温	予測1日目～5日目の5日間平均				
16行目	地点A	日最高気温	予測2日目～6日目の5日間平均				
...				}	日最低 気温		
27行目	地点A	日最高気温	予測13日目～17日目の5日間平均				
28行目	地点A	日最低気温	予測1日目～5日目の5日間平均				
29行目	地点A	日最低気温	予測2日目～6日目の5日間平均	}	日最低 気温		
...							
40行目	地点A	日最低気温	予測13日目～17日目の5日間平均				
41行目	地点B	日平均気温	予測1日目～5日目の5日間平均	}		}	地点B
42行目	地点B	日平均気温	予測2日目～6日目の5日間平均				
...							
79行目	地点B	日最低気温	予測13日目～17日目の5日間平均	}		}	地点C
80行目	地点C	日平均気温	予測1日目～5日目の5日間平均				
...							

(以下、地点の数だけ繰り返し)

※（初期日を予測0日目とする）

(2) 地域平均のガイダンスファイル

要素（日平均気温平年差、日最高気温平年差、日最低気温平年差のそれぞれ5日間平均）ごとに、各予測対象期間の予測資料を格納する。

2行目	日平均気温平年差	予測1日目～5日目の5日間平均	}	日平均気温 平年差
3行目	日平均気温平年差	予測2日目～6日目の5日間平均		
...				
14行目	日平均気温平年差	予測13日目～17日目の5日間平均	}	日最高気温 平年差
15行目	日最高気温平年差	予測1日目～5日目の5日間平均		
16行目	日最高気温平年差	予測2日目～6日目の5日間平均		
...			}	日最低気温 平年差
27行目	日最高気温平年差	予測13日目～17日目の5日間平均		
28行目	日最低気温平年差	予測1日目～5日目の5日間平均		
29行目	日最低気温平年差	予測2日目～6日目の5日間平均	}	日最低気温 平年差
...				
40行目	日最低気温平年差	予測13日目～17日目の5日間平均		

※（初期日を予測0日目とする）

③ 各行の書式

各行の書式を表形式で示す。各表において、1段目はカラムの説明、2段目は文字数、3段目は数値予報ガイダンスのデータの例を示す。各カラムにデータを右詰で収録し、余りはスペースで埋める。各表の下にカラムの詳細を示した。各表中の「C」はカンマ（,）のカラムを表す。

(1) 初期時刻行

初期値年	C	初期値月	C	初期値日	C	バージョン情報	C
5	1	5	1	5	1	5	1
2018	,	7	,	13	,	1	,

初期値年・月・日は、ガイダンスの基である数値予報モデルの初期時刻に基づき記述する。バージョン情報はフォーマットの変更等に応じた通し番号である。

(2) 予測資料行

地点の予測資料行

予測対象 期間開始 年	C	予測対象 期間開始 月	C	予測対象 期間開始 日	C	予測対象 期間終了 年	C	予測対象 期間終了 月	C	予測対象 期間終了 日	C	予測対象 期間長	C
5	1	5	1	5	1	5	1	5	1	5	1	5	1
2018	,	7	,	13	,	2018	,	7	,	17	,	5	,

続く

地点番号	C	要素番号	C	予測式 の種類	C	予測値 (アンサンブル 平均値)*	C	累積確率 (閾値1)*	C	...	C	累積確率 (閾値201)*	C	かなり 低い確率*	C
5	1	5	1	5	1	5	1	5	1	...	1	5	1	5	1
47401	,	1	,	3	,	10	,	0	,	...	,	100	,	5	,

続く

低い確率*	C	平年並 の確率*	C	高い確率*	C	かなり 高い確率*	C	かなり 低い区 分値*	C	低い区分 値*	C	高い区分値 *	C	かなり 高い区分値 *	C	平年値*	C
5	1	5	1	5	1	5	1	5	1	5	1	5	1	5	1	5	1
15	,	50	,	35	,	20	,	275	,	290	,	315	,	345	,	305	,

地域平均の予測資料行

予測対象 期間開始 年	C	予測対象 期間開始 月	C	予測対象 期間開始 日	C	予測対象 期間終了 年	C	予測対象 期間終了 月	C	予測対象 期間終了 日	C	予測対象 期間長	C
5	1	5	1	5	1	5	1	5	1	5	1	5	1
2018	,	7	,	13	,	2018	,	7	,	17	,	5	,

続く

地域番号	C	要素番号	C	予測式 の種類	C	予測値 (アンサンブル 平均値)*	C	累積確率 (閾値1)*	C	...	C	累積確率 (閾値201)*	C	かなり 低い確率*	C
5	1	5	1	5	1	5	1	5	1	...	1	5	1	5	1
1	,	1	,	3	,	10	,	0	,	...	,	100	,	5	,

続く

低い確率*	C	平年並 の確率*	C	高い確率*	C	かなり 高い確率*	C	かなり 低い区 分値*	C	低い区分 値*	C	高い区分値 *	C	かなり 高い区分値 *	C	平年値*	C
5	1	5	1	5	1	5	1	5	1	5	1	5	1	5	1	5	1
15	,	50	,	35	,	20	,	-20	,	-8	,	8	,	15	,	-9999	,

予測対象期間長 : 本行が収録している予測結果の対象期間の長さを「日」を単位として表す。  
 地域番号 : 表1を参照。  
 要素番号、予測値 : 予測要素に割り振った番号と予測値の単位について表2を参照。  
 予測式の種類 : 表3を参照。  
 区分値 : 階級区分値について表4を参照。  
 累積確率 : 閾値の範囲について表5を参照。  
 地点番号 : 気象官署は国際地点番号、地域気象観測所は観測所番号。なお、地点の一覧は表6を参照。  
 \*がついているカラムは値が無い場合“-9999”とする。

ここで、予測値（アンサンブル平均値）、平年値と階級区分値について補足する。  
 階級区分は、気象庁の解説用階級のひとつで、気候学的出現率が気温の高い（低い）方から10%の範囲を「かなり高い（低い）」、気候学的出現率が気温の高い（低い）方から33%の範囲を「高い（低い）」と定義する。この階級の閾値を階級区分値という。  
 地点データの予測値（アンサンブル平均値）は平年差を、階級区分値及び平年値は気温値そのものを格納する。地域平均データに関しては、アンサンブル平均値及び階級区分値には平年差を格納し、平年値には欠損値（-9999）を格納する。これは、地域平均の平年差及び階級区分は存在するが、平年値は存在しない（同一地域内でも、気温は標高や緯度・経度により差が大きく、限られた地点の気温を単純に平均しても地域を代表する気温としては不適切）ためである。なお、平年からのずれを示す平年差に関しては、同一地域内で同様の傾向が現れやすく、地域平均の平年差の統計をとることに意味がある。



表1 地域番号と地域名

番号	地域名	番号	地域名	番号	地域名
1	北日本	11	北海道地方	23	近畿地方
2	北日本日本海側	12	北海道日本海側	24	近畿日本海側
3	北日本太平洋側	13	北海道オホーツク海側	25	近畿太平洋側
4	東日本	14	北海道太平洋側	26	中国地方
5	東日本日本海側	15	東北地方	27	山陰
6	東日本太平洋側	16	東北日本海側	28	山陽
7	西日本	17	東北太平洋側	29	四国地方
8	西日本日本海側	18	東北北部	30	九州北部地方
9	西日本太平洋側	19	東北南部	31	九州南部・奄美地方
10	沖縄・奄美	20	関東甲信地方	32	九州南部
		21	北陸地方	33	奄美地方
		22	東海地方	34	沖縄地方

表2 予測要素とアンサンブル平均値の単位

番号	要素	単位
1	日平均気温年差	0.1℃
2	日最高気温年差	0.1℃
3	日最低気温年差	0.1℃

表3 予測式の種別

番号	意味
3	確率ガイダンス

表4 階級区分値

項目	意味
「かなり低い」の区分値	この値以下でかなり低い階級となる
「低い」の区分値	この値以下で低い階級となる
「高い」の区分値	この値より大きいと高い階級となる
「かなり高い」の区分値	この値より大きいとかなり高い階級となる

表5 閾値の範囲

要素	閾値 1	閾値 2	...	閾値 101	...	閾値 200	閾値 201	増分
平均気温年差 (0.1℃)	-100	-99		0		99	100	1
最高気温年差 (0.1℃)	-100	-99		0		99	100	1
最低気温年差 (0.1℃)	-100	-99		0		99	100	1

表6 地点一覧

ガイドンスファイルに格納する地点番号には、気象官署は国際地点番号（下記の47から始まる5桁の数字）、地域気象観測所は観測所番号を用いる。なお、地域気象観測所の観測所番号は、気象庁ホームページ等で提供している地域気象観測所一覧を参照願います。

地点番号	地点名	地点番号	地点名	地点番号	地点名	地点番号	地点名
47401	稚内	47602	相川	47677	三宅島	47822	延岡
47402	北見枝幸	47604	新潟	47678	八丈島	47823	阿久根
47404	羽幌	47605	金沢	47682	千葉	47824	人吉
47405	雄武	47606	伏木	47684	四日市	47827	鹿兒島
47406	留萌	47607	富山	47690	日光	47829	都城
47407	旭川	47610	長野	47740	西郷	47830	宮崎
47409	網走	47612	高田	47741	松江	47831	枕崎
47411	小樽	47615	宇都宮	47742	境	47835	油津
47412	札幌	47616	福井	47744	米子	47836	屋久島
47413	岩見沢	47617	高山	47746	鳥取	47837	種子島
47417	帯広	47618	松本	47747	豊岡	47838	牛深
47418	釧路	47620	諏訪	47750	舞鶴	47843	福江
47420	根室	47622	軽井沢	47754	萩	47887	松山
47421	寿都	47624	前橋	47755	浜田	47890	多度津
47423	室蘭	47626	熊谷	47756	津山	47891	高松
47424	苫小牧	47629	水戸	47759	京都	47892	宇和島
47426	浦河	47631	敦賀	47761	彦根	47893	高知
47428	江差	47632	岐阜	47762	下関	47895	徳島
47430	函館	47636	名古屋	47765	広島	47897	宿毛
47433	倶知安	47637	飯田	47766	呉	47898	清水
47435	紋別	47638	甲府	47767	福山	47899	室戸岬
47440	広尾	47640	河口湖	47768	岡山	47909	名瀬
47512	大船渡	47641	秩父	47769	姫路	47912	与那国島
47520	新庄	47646	館野	47770	神戸	47918	石垣島
47570	若松	47648	銚子	47772	大阪	47927	宮古島
47574	深浦	47649	上野	47776	洲本	47929	久米島
47575	青森	47651	津	47777	和歌山	47936	那覇
47576	むつ	47653	伊良湖	47778	潮岬	47940	名護
47581	八戸	47654	浜松	47780	奈良	47942	沖永良部
47582	秋田	47655	御前崎	47784	山口	47945	南大東島
47584	盛岡	47656	静岡	47800	巖原	47971	父島
47585	宮古	47657	三島	47805	平戸	*	白石 <sup>※1</sup>
47587	酒田	47662	東京	47807	福岡	*	みなかみ <sup>※2</sup>
47588	山形	47663	尾鷲	47809	飯塚	*	大津 <sup>※3</sup>
47590	仙台	47666	石廊崎	47812	佐世保	*	庄原 <sup>※4</sup>
47592	石巻	47668	網代	47813	佐賀		
47595	福島	47670	横浜	47814	日田		
47597	白河	47672	館山	47815	大分		
47598	小名浜	47674	勝浦	47817	長崎		
47600	輪島	47675	大島	47819	熊本		

\* : 地域気象観測所

※1 : 宮城県    ※2 : 群馬県    ※3 : 滋賀県    ※4 : 広島県